

会 告

社団法人 土 木 学 会

行事案内	月 日	行 事 名	場 所	備 考
本 部	1月28日(火) ~29日(水)	第3回土木計画学シンポジウム	土木学会	12号5ページ参照
	1月31日(金) ~2月1日(土)	第5回衛生工学研究討論会	同	12号6 "
	2月7日(金) ~8日(土)	第13回水理講演会	東 京	12号7 "
	2月27日(木) ~28日(金)	第15回岩盤力学に関するシンポジウム	土木学会	12号8 "
	3月4日(火)	第2回構造用軽量骨材に関するシンポジウム	同	12号9 "
	7月15日(火) ~16日(水)	第10回地震工学研究発表会	同	12号9 "
	関 東 支 部	1月20日(月)	映 画 会	埼 玉 県
2月14日(金)		「東京湾の開発」講演会	土木学会	12号10 "
関 西 支 部	1月18日(土)	海外事情講演会	大 阪 市	12号10 "
	1月18日(土)	会員懇親会	同	12号11 "
	2月25日(火) ~26日(水)	工事安全対策に関する講習会	同	12号11 "
	2月25日(火)	若い会員懇親パーティ	同	12号11 "
	5月11日(日)	関西支部年次学術講演会	神 戸 市	12号12 "
中 四 支 部	2月5日(水)	講演会・講習会	広 島 市	12号12 "
西 部 支 部	2月23日(日)	研究発表会	福 岡 市	12号13 "
そ の 他	1月25日(土)	不等質の流れのシンポジウム	土木学会	12号5 "
	2月8日(土)	河川災害研究の現況とその将来に関するシンポジウム	東 京	12号7 "
お 知 ら せ	昭和43年度土木学会賞候補ならびに吉田研究奨励金候補の募集			12号2 "
	第10回地震工学研究発表会講演募集			12号8 "
	国際会議のお知らせ			12号13 "
新 刊 紹 介	橋 1967—1968 土木学会田中賞設立を機会にわが土木界に始めて誕生した橋に関する美しい年報ができました			
	定 価 1500 円 ほかに送料 150 円	編 集 土木学会橋梁構造委員会橋梁年報編集小委員会 発 行 社団法人土木学会 体 裁 A4判 82ページ/一部カラー刷 内 容 本州四国連絡橋技術調査報告書の概要/福島第1高架橋/名護屋大橋<以上受賞作品の紹介>/鋼橋 10 橋の紹介/コンクリート橋6橋の紹介/1967年竣工主要橋梁一覧/田中賞受賞論文の紹介/田中賞選考経過		
代金に送料を添えて 新宿区四谷1丁目・ 土木学会刊行物係へ 申込んで下さい				

昭和43年度土木学会賞候補ならびに吉田研究奨励金候補の募集

昭和43年10月

社団法人 土 木 学 会

本年度土木学会賞候補の募集ならびに吉田研究奨励金候補の募集をいたします。表彰規程および下記募集要項をご参照のうえふるって推薦または応募されますようお願いいたします。ただし、土木学会賞のうちの功績賞については公募いたしません。

◎土木学会賞候補募集要項

項目 種別	技 術 賞	論 文 賞	吉 田 賞	田 中 賞
候補対象	土木事業の計画、設計、施工等に関し、土木技術の進展に顕著な貢献をなした画期的な総合的業績、もしくは一部の業績	(論文賞) 土木学会誌、論文集、その他の刊行物に研究、計画、設計、施工、考案などに関する論文を発表し、これが土木工学における学術、技術の進歩発展に独創的な業績をあげ、顕著な貢献をなしたものの(論文奨励賞) 土木学会誌、論文集、その他の刊行物に研究、計画、設計、施工、考案などに関する論文を発表し、これが土木工学における学術、技術の進歩発展に寄与し、独創性と将来性に富むもので受賞者の年齢が原則として受賞時(44年5月末日)に満36才未満であるもの。	コンクリート、鉄筋コンクリート、プレストレストコンクリート、およびこれらに関連する優秀な研究、工的事業等を行なったものに授与し、その業績が土木学会の刊行物、コンクリートに関する学・協会の刊行物、その他これに類似の刊行物に研究論文、設計、施工、考案などの報告またはそれらの要旨が登載されたものの中から選ばれる。	(論文) 橋梁およびその他の構造物に関する優秀な研究成果を対象とし、公開されたものの中から選ばれる。 (作品) 橋梁およびそれに関連する構造物で、計画、設計、施工、美観などの面においてすぐれた特色を有する物を対象とし、つぎの各グループについて選考する。 (1) 長大橋梁 (2) 中小橋梁 (3) その他特殊橋梁および橋梁に関連するもの
受賞候補者	個人または団体	本学会員に限る。 過去の土木受賞者は既受賞者として重ねて同一の賞の候補者となることはできない。共著者(共同研究者)の中に非会員、既受賞者、その他受賞候補者になることができないもの含まれていることはさしつかえないが、受賞候補者に加えることはできない。	個人または研究グループ。 ただし、外国国籍のものは、本会会員であつて、その候補対象を土木学会誌、論文集、その他土木学会の刊行物に発表した者に限る。また、原則としてすでに吉田賞を授与されたものを除く。	(論文) 個人またはその複数。 (作品) 作品自身を対象とするもので受賞候補者はない。
候補の範囲	昭和42年1月1日から昭和43年12月31日までの間にできた業績であつて日本国内において実施されたものに限る。	昭和42年1月1日から、昭和43年12月31日までの間に発表されたもの、土木学会誌、論文集、その他土木学会の刊行物に登載されたもの、他、他学・協会、大学、官公庁、会社などの刊行物に登載されたものを含む。 なお、同一の問題につき当該期間以前においても論文が発表されている場合には前提に該当する論文にその過去における発表論文を加えて総合題目として候補の対象とすることもできる。		(論文) 論文賞・吉田賞と同じ (作品) 昭和42年1月1日から昭和43年12月31日までの間に完成した構造物で日本人により計画、設計あるいは施工されたものに限る。 なお、完成の時期については、原則的には普通の橋梁等では供用開始の時、その他一連の工事の一部としての橋梁等の構造物には、そのもの自身の完成したと見做される時とする。
推薦(応募)の方法	推薦者は会員、支部、土木事業に関連する学・協会・法人とする。 推薦者は別に定める推薦書、候補業績の要旨各1部を提出する。 なお、当該業績に関する参考資料を添付することを妨げない。	推薦者は会員、支部その他一般とするが、会員自らの応募であってもよい。 推薦者は別に定める様式による推薦書1部を提出する。候補論文が土木学会誌、論文集以外に発表されている場合は推薦書に添えて本文および審査に必要な資料部6と別に定める様式による候補論文要旨1部を提出しなければならない。	推薦者は会員、支部、その他一般とする。 推薦者は別に定める様式による推薦書1部を提出する。土木学会誌、論文集以外に発表された候補論文は推薦書に添えて本文および審査に必要な資料30部を提出しなければならない。	(論文) 推薦者は会員、支部、その他一般とする。 推薦者は別に定める様式による推薦書1部を提出する。候補論文が土木学会誌、論文集以外に発表されている場合は、推薦書に添えて審査に必要な資料20部を提出しなければならない。 (作品) 推薦者は会員、支部、その他一般とする。 推薦者は別に定める推薦書1部を提出する。
(推薦書および関係用紙は土木学会本部または各支部に準備してありますから必ずその用紙を使用して下さい)				
審査	表彰委員会において行なう。ただし、審査の途上において推薦者またはその代理人に出席を求め説明をうけることがある。	論文賞選考委員会において行なう。なお、必要あるときはさらに資料30部の追加提出を求めることがある。	吉田賞選考委員会において行なう。	田中賞選考委員会において行なう。なお、必要あるときはさらに関係資料の提出を求めることがある。
表彰	第55回通常総会において行ない、賞状、賞牌を贈る。	第55回通常総会において行ない、賞状、賞牌、賞金を贈る。	第55回通常総会において行ない、賞状、賞牌、賞金を贈る。	第55回通常総会において表彰する。
締切日	昭和44年1月20日			
提出先	東京都新宿区四谷1丁目 土木学会表彰委員会	土木学会論文賞選考委員会	土木学会吉田賞選考委員会	土木学会田中賞選考委員会

土木学会表彰規程

(総則)

第1条 土木学会第34条による表彰はこの規程による。

(賞の種類)

第2条 表彰は次の土木学会賞(総称)を授与して行なう。

1. 功績賞
2. 技術賞
3. 論文賞
4. 吉田賞
5. 田中賞

(功績賞)

第3条 功績賞は土木学会の会員であって、土木工学の進歩、土木事業の発達、土木学会の運営に顕著な貢献をなしたと認められるものに授与する。

(技術賞)

第4条 技術賞は土木事業の計画、設計、施工等に関し、土木技術の進展に顕著な貢献をなしたと認められた画期的な業績に授与する

(論文賞)

第5条 論文賞は本会会員であって、土木学会誌、論文集、その他の刊行物に研究、計画、設計、施工、考案などに関する論文を発表し、これが土木技術の進展に顕著な貢献をなしたと認められた画期的な業績に授与する。

(2) 論文奨励賞は本会会員であって、土木学会誌、論文集、その他の刊行物に研究、計画、設計、施工、考案などに関する論文を発表し、これが土木工学における学術、技術に関する進歩発展に寄与し、独創性と将来性に富むものと認められ、受賞者の年齢が原則として受賞時に満36才未満であるものに授与する。

(吉田賞)

第6条 吉田賞はコンクリート、鉄筋コンクリート、プレストレストコンクリートおよびこれらに関連する優秀な研究、工事等を行なったと認められるものに授与し、その業績が土木学会の刊行物、コンクリート、鉄筋コンクリートおよびプレストレストコンクリートに関する学・協会の刊行物、その他これに類似の刊行物に研究論文、設計・施工・考案等の報告またはそれらの要旨が掲載されたものの中から選ばれる。

(田中賞)

第7条 田中賞は次の論文ならびに作品に授与する。

(1) 論文

橋梁およびその他の構造物に関する優秀な研究結果を対象とし、公刊されたものの中から選ばれる。

(2) 作品

橋梁およびそれに関連する構造物で、計画、設計、施工、美観などの面においてすぐれた特色を有すると認められる物を対象とし、長大橋梁、中小橋梁、その特殊橋梁および橋梁に関連あるもののグループ別に選ばれる。

(委員会)

第8条 土木学会賞を選考するため次の委員会をおく。

1. 表彰委員会
2. 論文賞選考委員会
3. 吉田賞選考委員会
4. 田中賞選考委員会

(2) 表彰委員会は功績賞および技術賞の受賞候補の選考をなし、論文賞、吉田賞および田中賞選考委員会の具申を受けて、必要に応じて各賞間の調整を行ない、土木学会賞受賞候補を決定する。

(3) 論文賞選考委員会は論文賞候補の選考を行なう。

(4) 吉田賞選考委員会は吉田賞候補の選考を行なう。

(5) 田中賞選考委員会は田中賞候補の選考を行なう。

(6) 前記各委員会の構成、運営、その他については別に内規で定める。

(賞の決定、表彰の時期・方法)

第9条 土木学会賞は理事会において決定し、表彰は原則として毎年1回通常総会において賞牌、賞状等を授与して行なう。

◎吉田研究奨励金候補者の募集

1. 候補対象

コンクリート、鉄筋コンクリートおよびプレストレスト コンクリートならびにこれらに関連する研究に従事するもので、特に独創性と将来性に富むと認められたもの。ただし、授与されるものが、昭和8年6月1日以降出生のものに限り、かつ、原則として同一研究計画に対してすでに吉田研究奨励金を授与されたものを除く。

2. 募集の題目

(1) 要望課題

- ① 鉄筋コンクリート部材の極限設計に関する研究
- ② 高張力異形鉄筋の有効な使用方法に関する研究
- ③ 軽量コンクリートに関する研究
- ④ 砕石コンクリートに関する研究

(2) 自由課題

(注) 来年度の要望課題としては②と④を「プレキャスト コンクリート部材の接合に関する研究」とコンクリート内の微細なひびわれに関する研究に変更する。なお、これ以外に必要なと思われる課題を追加することもある。

3. 募集の方法

日本の国籍を有する個人または研究グループの応募による。

4. 研究成果の報告

研究成果は文書により吉田賞選考委員会に提出するほか、昭和45年10月中旬施行の第25回年次学術講演会において吉田研究奨励金を授与された研究であることを明らかにして発表しなければならない。

5. 応募の方法

一定様式による研究計画書1部を提出する。

(計画書の用紙は土木学会本部および各支部に準備してありますから、必ずその用紙を使用して下さい)

6. 審 査

吉田賞選考委員会において行なう。

7. 締 切 期 日

昭和44年1月20日

8. 提 出 先

東京都新宿区四谷1丁目 土木学会吉田賞選考委員会

◎昨年度の土木学会賞受賞者 (敬称略)

功 績 賞:	草 間 偉	土木工学ならびに土木事業の進展
	沼 田 政 矩	同
技 術 賞:	首都高速道路公団	首都高速道路の建設 (羽田線・目黒線・渋谷線・代々木線・環状線)
論 文 賞:	天 野 光 三	交通施設整備の地域経済の効果に関する研究
論文奨励賞:	和 田 明	入江内における冷却水取・放水の研究 (総合課目)
	合 田 良 実	直柱に働く衝撃碎波力の研究
		有限振幅重複波ならびにその波圧に関する研究
吉 田 賞:	岡 村 甫	高張力異形鉄筋の使用に関する基礎研究
田 中 賞:	伊 藤 学	Response of Suspension Bridges to Moving Vehicles
	名 護 屋 大 橋	
	福 島 高 架 橋	(阪神高速道路・大阪池田線)

第3回土木計画学シンポジウム

◀ 1月28日(火)~29日(水) ▶

土木計画学研究委員会はすでにシンポジウムを2回、講習会を1回開催し、土木計画学に関する研究をすすめて参りましたが、今般第1回および第2回のシンポジウムの内容を総括的にとらえ、今後の発展を計るべく、「土木計画における計量化の考えかたと問題点」を中心に第3回土木計画学シンポジウムを開催することとなりました。会員各位のご参加を希望します。

1. 期 日：1969年1月28日(火)~29日(水)
2. 会 場：土木学会図書館講堂/東京都新宿区四谷1丁目/電話 03-351-5138/交通・国電四谷駅下車2分，地下鉄四谷駅下車4分
3. 課 題：土木計画における計量化の考えかたと問題点
4. 内 容：[第1部] 土木計画の考えかた——第1回および第2回土木計画シンポジウムの整理と検討
 司会 八十島義之助(東大)/発表 新谷洋二(東大)/討論 委員会幹事
 [第2部] 土木計画における計量化の考えかたと問題点
 (第1日) 司会 内田一郎(九大)/山根 孟(建設省)/枝村俊郎(神戸大)
 小池 力(運輸省)/鈴木忠義(東工大)/菊池 宏(国鉄)
 (第2日) 司会 岩佐義朗(京大)/島田静雄(名大)/末石富太郎(京大)
 伊藤 博(経企庁)
 [第3部] 特別講演 渡辺 茂(東大・機械工学科)
 [第4部] 総括討論： 小川博三(北大)/八十島義之助(東大)/内田一郎(九大)
 岩佐義朗(京大)
 [第5部] 総括討論のまとめ 小川博三(北大)
 開会あいさつ 鈴木雅次/閉会あいさつ 米谷栄二
5. 定 員：150名
6. 参 加 費：会員 1800円，会員外 2000円
7. 申 込 方 法：希望者は ①氏名，②勤務先，③連絡先，④会員区分を明記，参加費同封のうえ現金書留便でお申込み下さい。
8. 申 込 先：土木学会事務局編集課(東京都新宿区四谷1丁目・郵便番号160)
9. 締 切：1969年1月10日

不等質の流れのシンポジウム

◀ 1月25日(土) 10.00~ ▶

1. 開 催 日：1969年1月25日(土) 10.00~16.40
2. 共 催：(順不同) 日本学術会議水力学 水理学研究連絡委員会・化学工学協会・造船学会・土木学会・日本海洋学会・日本機械学会・日本気象学会・日本建築学会・農業土木学会
3. 会 場：土木学会土木図書館講堂(東京都新宿区四谷1丁目・外濠公園入口)
4. 内 容：題目数：8，講演時間：40分(25分+討論15分)
 10.00~10.10 開会あいさつ
 10.10~10.50 (1) 河口密度流の2,3の性質について 運輸省港湾技術研究所 工博 浜田 徳一
 10.50~11.30 (2) 淡水水界面における乱れ拡散に関する研究 東北大学工学部 工博 岩崎 敏夫
 11.30~12.10 (3) 流砂を伴う開水路の流れ 東京工業大学工学部 工博 吉川 秀夫
 13.00~13.40 (4) 泥水の管抵抗について 東京教育大学農学部 農博 岸上 定男
 13.40~14.20 (5) 液体機械内の気泡混合流 名古屋大学工学部 工博 村上 光清
 14.20~15.00 (6) 液体機械におけるスーパーキャピテーション 東北大学高速力学研究所 工博 齊藤 清一
 15.10~15.50 (7) 不均一流れにおける船用プロペラのキャピテーション 運輸省船舶技術研究所 伊藤 達郎
 15.50~16.30 (8) 衝撃波を伴う不等質の流れ 京都大学工学部 工博 神元 五郎
 16.30~16.40 閉会あいさつ

第5回衛生工学研究討論会

◀ 1月31日(金)～2月1日(土) ▶

第5回衛生工学研究討論会を下記により開催いたしますので多数ご参加下さるようご案内いたします。

1. 期 日：1969年1月31日(金)、2月1日(土)の2日間
2. 会 場：土木学会土木図書館講堂
3. 参 加 費：無 料
4. 講演論文集：当日実費頒布
5. プログラム：

第1日：1月31日(金)

9.50～10.00	開会挨拶	衛生工学委員会委員長 板倉 誠 建土研 村上 健
10.00～10.30	(1) 河川の自浄作用および汚濁の濁負荷流率について(第1報)	
10.30～11.00	(2) 重金属元素による水質汚濁に関する研究 (豊平川水系におけるカドミウムおよび亜鉛について)	北大 那須義和・江口静子
11.00～11.30	(3) 河海の自浄作用に関する研究(1)	山口大 中西 弘・浦 勝・松尾 信
11.30～12.00	(4) 海域の汚濁物質受容限界について	京大 岩井重久・井上頼輝
12.00～12.40	(1)～(4) 討 議	
12.40～13.40	昼食休憩	
13.40～14.10	(5) 濁度予測に関する研究	北大 丹保憲仁・住宅公団 工藤正寿
14.10～14.40	(6) 水系水質の変化とその予報に関する研究	京大 合田 健・宗宮 功・西沢 稔
14.40～15.00	(5)～(6) 討 議	
15.00～15.10	休 憩	
15.10～15.40	(7) 伸線、製鋼工場群からの排水の共同除害施設の設計に関する調査	建土研 柏谷 衛
15.40～16.10	(8) 硝酸塩を酸素源とした生物処理法(第1報)	栗田工業 宮地有正・杉本和雄
16.10～16.40	(9) 酸化と吸着を分離した活性汚濁法の数値モデル	公衆衛生院 南部祥一
16.40～17.10	(7)～(9) 討 議	

第2日：2月1日(土)

10.00～10.30	(10) 弾力性概念による需要水量と浄水場設計の分析について	京大 末石富太郎・住友 恒
10.30～11.00	(11) モデル化された各級都市における消化槽設置による水道管費用の増加に関する研究	万博 保野健治郎
11.00～11.30	(12) 傾斜板沈でん池について	中央大 内藤幸徳・首藤伸夫
11.30～12.00	(13) 凝集沈殿における沈降特性	早大 遠藤郁夫・吉川敏孝
12.00～12.40	(10)～(13) 討 議	
12.40～13.40	昼食休憩	
13.40～14.10	(14) 汚泥消化におよぼす重金属塩類の影響	東北大 松本順一郎・野地達也
14.10～14.40	(15) 汚泥消化の高率化に関する研究	早大 遠藤郁夫・近藤千秋
14.40～15.10	(16) 雨天時下水排除の合理化へのアプローチ	建土研 稲葉紀久雄・横尾得位
15.10～15.40	(14)～(16) 討 議	
15.40～16.00	休 憩	
16.00～16.30	(17) セルローズ性物質の水分がその燃焼火移り速度に及ぼす影響	京大 岩井重久・日立造船 春山 鴻
16.30～17.00	(18) ゴミ焼却プラントの操作因子に関する解析	京大 岩井重久・平岡正勝・高内政彦・高月 紘
17.00～17.30	(19) 汚泥の流動性に関する研究	早大 遠藤郁夫・伊藤三郎
17.30～18.00	(17)～(19) 討 議	
18.00～18.05	閉会挨拶	板倉 誠

6. 懇 親 会

第1日討論会終了後懇親会を開催する予定です。申込は当日会場にて受付ます。

土木図書館蔵書目録 第1集・第2集

先に創立50周年記念事業の一環として建設されました土木図書館の蔵書目録第1集・第2集が土木図書館運営委員会の協力を得て刊行されておりますのでご利用下さい。

内 容：	図書館規程/同利用規定/分類記号/和書/洋書/国際会議論文集/雑誌/土木図書館フィルムライブラリー		
体 裁：	第1集 A5判	タイプ印刷 236 ページ	第2集 タイプ印刷 71 ページ
定 価：	700 円	会員特価：600 円	200 円 会員特価：150 円
送 料：	100 円		50 円

第 13 回水理講演会

◀ 2 月 7 日 (金) ~ 8 日 (土) ▶

第 13 回水理講演会を下記により開催いたしますので多数ご参加下さるようご案内いたします。

1. 期 日：1969 年 2 月 7 日 (金), 8 日 (土)
2. 会 場：発明会館 (東京都港区芝西久保明舟町 17・地下鉄虎ノ門下車徒歩 3 分)
3. 主 催：土木学会水理委員会
4. プログラム： 第 1 日：2 月 7 日 (金)

9.15~ 9.30	開会あいさつ	土木学会水理委員会委員長 林 泰造
9.30~ 9.50	(1) 貯水池群の統合管理へのシミュレーション	東京大学工学部 高橋 裕・竹内邦良・○大熊 孝
9.50~10.10	(2) 河川における洪水伝播のシミュレーション	電力中央研究所 ○是枝 忍・秋元 保・丸岡 計
10.10~10.30	(3) 情報理論的水文学の一手法 (II)	東京工業大学工学部 日野 幹雄
10.30~10.45	討 議 (1)~(3)	
10.45~11.05	(4) 利水を対象とした流量時系列の解析について	大阪大学工学部 室田 明・○神田 徹
11.05~11.25	(5) 電算組織による洪水予報	建設省東北地方建設局 井田至春・木谷 正・○佐々木賢一
11.25~11.45	(6) ナイキスト図による河川流出モデルの適合性の判別	北海道大学工学部 山岡 勲・○藤田勝博
11.45~12.00	討 議 (4)~(6)	
12.00~13.00	昼 食・休 憩	
13.00~13.20	(7) 水利利用計画における農業用水量の推定法	東京大学農学部 岡本 雅美・○華山 謙
13.20~13.40	(8) 流況曲線の一表現法	東京都立大学工学部 丸井 信雄・KK大林組 ○荒井 徳昭
13.40~14.00	(9) 浮遊による河床変動	建設省土木研究所 星畑 国松
14.00~14.20	(10) 特性曲線法による河床変動計算について	建設省土木研究所 須賀 堯三
14.20~14.35	討 議 (7)~(10)	
14.35~14.50	休 憩	
14.50~15.10	(11) 浸透層よりの定常選択取水について	京都大学工学部 岩佐 義朗・○武内 等
15.10~15.30	(12) 粘性流体の非ダルシー流	東京大学農学部 岡本 雅美
15.30~15.50	(13) 間隙空気圧の圧縮を考慮した鉛直浸透	神戸大学工学部 田中 茂
15.50~16.10	(14) 水で満たされていない集水暗きょの取水量について	九州大学工学部 杉尾 哲
16.10~16.30	(15) 空隙規模の分布による透水係数の評価について	大阪大学工学部 室田 明・大阪府立工業専門学校 ○佐藤邦明
16.30~16.50	討 議 (11)~(15)	

第 2 日：2 月 8 日 (土)

9.20~ 9.40	(16) 河川の平均流速公式について	徳島大学工学部 ○杉尾捨三郎・堀 勝也
9.40~10.00	(17) 噴流における洗掘機構について	山口大学工学部 ○齊藤 隆・九州大学工学部 椿 東一郎
10.00~10.20	(18) 静止流体中への密度差を有する水平噴流	東京大学工学部 玉井 信行
10.20~10.30	討 議 (16)~(18)	
10.30~10.50	(19) 移動河床に生ずる二、三の不安定現象	中央大学理工学部 ○林 泰造・川上 克巳
10.50~11.10	(20) ハイ・ポリマー稀溶液の流体力学的問題についての二、三の実験	東京工業大学工学部 ○日野 幹雄・長谷川佐代子
11.10~11.30	(21) 温排水の水域内拡散について	中央大学工学部 林 泰造・○吉田 茂
11.30~11.45	討 議 (19)~(21)	

◎講演集：参加者の便宜のため当日会場で実費頒布いたしますから、ご必要の方はお買下下さい (B5 判, 130 ページ程度, 価格未定)。

河川災害研究の現況とその将来に関するシンポジウム ◀ 2 月 8 日 (土) 13.00~ ▶

日本学術会議水特別委員会および災害科学総合研究班河川分科会主催、土木学会水理委員会後援のもとに標記シンポジウムを下記により開催いたしますので、多数ご参加下さるようご案内いたします。

1. 日 時：1969 年 2 月 8 日 (土) 13.00~17.00
2. 会 場：発明会館 (東京都港区芝西久保明舟町 17)
3. プログラム：
 - (1) 地形の変化と災害
 - (2) 流路の変遷と災害
 - (3) 洪水の災害

東京都立大学教授 中野 尊正
 京都大学教授 芦田 和男
 名古屋大学教授 西畑 勇夫

第 5 回岩盤力学に関するシンポジウム

◀ 2 月 27 日(木)~28 日(金) ▶

標記シンポジウムを下記により開催いたしますので、ふるってご参加下さるようご案内いたします。

1. 期 日：1969 年 2 月 27 日(木)、28 日(金)
2. 会 場：土木学会土木図書館講堂（東京都新宿区四谷 1 丁目）
3. 主 催：土木学会岩盤力学委員会
4. プログラム：

第 1 日：2 月 27 日(木)

- | | | |
|-------------|-----------------------------------|--|
| 9.30~9.40 | 開会あいさつ | 土木学会岩盤力学委員会委員長 岡本 舜三 |
| 9.40~10.05 | (1) S波の測定による岩盤の強度の考察について | 鹿島建設 佐藤忠五郎・雑喉 謙・西藤立雄・遠西光男 |
| 10.05~10.30 | (2) 高速荷重下における岩石の力学的挙動 | 東北大学工学部 小林 良二 |
| 10.30~10.50 | 討 議 (1)~(2) | |
| 10.50~11.00 | 休 憩 | |
| 11.00~11.25 | (3) 長大吊橋基礎岩盤諸査の一例—開門吊橋の場合— | 建設省土木研究所 ○吉田 巖・埼玉大学理工学部 吉中竜之進・日本道路公団開門架橋工事事務所 大橋昭光 |
| 11.25~11.50 | (4) 変形試験時における岩盤中のひずみ分布 | 建設省四国地方建設局 岸本貞男・建設省土木研究所 安江朝光・○小林茂敏 |
| 11.50~13.00 | 昼 食・休 憩 | |
| 13.00~13.25 | (5) 脆性材料の変形特性 | 名古屋大学工学部 川本眺万・○富田和政・秋本昌胤 |
| 13.25~13.50 | (6) ひびわれ体の応力 | 電力中央研究所 北原 義浩 |
| 13.50~14.20 | 討 議 (3)~(6) | |
| 14.20~14.30 | 休 憩 | |
| 14.30~14.55 | (7) 岩石の吸水による強度低下 | 電力中央研究所 中新井 克子・金川 忠 |
| 14.55~15.20 | (8) 亀裂の強度に及ぼす影響について | 東北大学工学部 佐武 正雄・○田野 久貴 |
| 15.20~15.45 | (9) 傾斜した層をもつ供試体の一軸圧縮強度とその破壊機構について | 東北大学工学部 佐武正雄・伊藤 駿・○山崎芳徳 |
| 15.45~16.15 | 討 議 (7)~(9) | |

第 2 日：2 月 28 日(金)

- | | | |
|-------------|---|--|
| 9.30~9.55 | (10) ベンチカット発破による岩盤変動の電氣的測定 | 京都大学工学部 吉住永三郎・入江 恒爾・鹿島建設 佐藤忠五郎・鹿島建設技術研究所 谷本 治重 |
| 9.55~10.20 | (11) 矢作アーチダムの基礎岩盤掘削における爆破振動測定 | 鹿島建設 佐藤忠五郎・雑喉 謙・梅田貞夫・松井正州・井保武寿 |
| 10.20~10.40 | 討 議 (10)~(11) | |
| 10.40~10.50 | 休 憩 | |
| 10.50~11.15 | (12) 奈川渡ダムの断層処理について | 東京電力梓川水力総建設所 藤井 敏夫 |
| 11.15~11.40 | (13) 下笠ダムの高圧グラウチング | 建設省土木研究所 副島 健・○花菴 秀輔 |
| 11.40~12.00 | 討 議 (12)~(13) | |
| 12.00~13.00 | 昼 食・休 憩 | |
| 13.00~13.25 | (14) 岩石破壊音を応用した地すべりの予知 | 鹿島建設技術研究所 渋谷長美・田村 計・岡林信行 |
| 13.25~13.50 | (14) 変状トンネルの問題 | 国鉄鉄道技術研究所 高橋彦治・飯塚 全 |
| 13.50~14.10 | 討 議 (14)~(15) | |
| 14.10~14.20 | 休 憩 | |
| 14.20~14.45 | (16) 喜撰山発電所地下空洞掘削に伴う空洞周辺地山の变形について | 関西電力喜撰山建設所 吉村 清宏 |
| 14.45~15.10 | (17) 粘塑性地山内でのトンネル覆工への経時的応力の解析 | 電力中央研究所 ○林 正夫・北原義浩・日比野敏 |
| 15.10~15.30 | 討 議 (16)~(17) | |
| 15.30~15.40 | 休 憩 | |
| 15.40~16.40 | 〔特別講演〕 International Symposium on Rock Mechanics 報告 | 建設省土木研究所 飯田 隆一 |
| 16.40~17.10 | 映 画(題名未定) | |
| 17.10~17.20 | 閉会あいさつ | 土木学会岩盤力学委員会副委員長 畑野 正 |

◎講演概要：参加者の便宜のため当日会場にて実費頒布いたしますので、ご必要の方はお買求め下さい。(価格未定)

第 10 回地震工学研究発表会講演募集

下記により第 10 回地震工学研究発表会を開催いたしますので、講演ご希望の方は、ふるってご応募下さい。

1. 期 日：1969 年 7 月 15 日(火)、16 日(水)
2. 会 場：土木学会土木図書館講堂
3. 募 集 規 定：

- (1) 講 演 内 容：理論，実験，耐震設計の実測，復旧工事，震害等
- (2) 申 込 方 法：3 月 31 日(月)までに題目、講演者氏名(連名の場合は登壇者に○印をつける)、勤務先を明記し、土木学会耐震工学委員会宛お申込み下さい。

4. 講演概要原稿締切：5月10日(土) 厳守

講演概要はオフセット印刷致します。原稿の長さは1題目刷り4ページ以内(図・表・写真を含み6480字)とし、所定の原稿用紙にタイプまたはスミ書きにして下さい。講演の採否は土木学会耐震工学委員会にご一任下さい。なお、講演時間は、1講演15分～20分(質問時間を含まず)の予定です。

5. パネル討論：今回は特定なテーマを設けパネル討論を行ないます。

第2回構造用軽量骨材に関するシンポジウム

◀ 3月4日(火) ▶

土木学会コンクリート委員会では下記により標記シンポジウムを開催いたします。現在コンクリート用新材料として脚光を浴びている人工軽量骨材の使用法を中心として活発な論議を行なうことは、斯界発展のために有意義なことであります。ふるってご参集下さるようご案内いたします。

1. 期 日：1969年3月4日(火) 9.00～18.00

2. 場 所：土木学会土木図書館講堂

3. 参加費：無 料

4. 講演概要：当日実費頒布

5. 講演内容：

(I 軽量骨材の性質)

- (1) 人工軽量骨材の吸水特性とコンクリートの性質 鳥取大 西林新蔵・大阪セメント 湯本徹男
- (2) 人工軽量骨材の破砕試験について 東大生研 小林一輔・趙 力采・河原俊厚
- (3) 軽量骨材粒の強度および耐久性 都立大 村田二郎・神山行男

(II 軽量骨材コンクリートの性質)

- (4) 各種人工軽量骨材を用いたコンクリートの諸性質 東大 岡村 甫・山本泰彦・榎本松司
- (5) 軽量コンクリートの諸性質 国鉄技研 樋口芳朗・割沢善雄・西郷勲次郎・浅沼久志
- (6) 軽量骨材コンクリートの二、三の実験 東北大 後藤幸正・杉山嘉徳・石母田豊
- (7) 人工軽量骨材コンクリートの諸性状に及ぼす乾湿の影響 東大生研 小林一輔・伊藤利治
- (8) クリープの環境湿度依存性について 京大 岡田 清・小柳 治・坂田憲次
- (9) 各種人工軽量骨材を用いたコンクリートのクリープ 東大 岡村 甫・鈴木正治
- (10) 人工軽量骨材コンクリートの圧縮疲労性状 東大生研 小林一輔・伊藤利治・芝田 憲
- (11) 人工軽量コンクリートの耐硫酸塩性に関する二、三の考察 鳥取大 西林新蔵・大阪セメント 片岡宏治・三井金属 清水 昭
- (12) 各種人工軽量骨材を用いたコンクリートの凍結融解に対する抵抗性について 法政大 小林正凡・東大 高橋正泰

(III 施 工)

- (13) 懸架橋床版の軽量コンクリートに関する研究 道路公団 四本堯光・中村修吾・日本セメント 西岡忠郎
- (14) 軽量レデーミクストコンクリートの運搬について 都立大 村田二郎・神山行男
- (15) 鉄道構造物における人工軽量骨材コンクリートの適用 国鉄 尾坂芳夫・鳥居敏郎・小地 晋

(IV 軽 量 R C)

- (15) 鉄筋コンクリート短柱の中心軸圧縮試験(普通および人工軽量骨材コンクリートの場合) 京大 六車 照・渡辺史夫
- (17) 人工軽量骨材を用いた鉄筋コンクリートはりの長期材令における曲げ実験 東工大 長滝重義・米山紘一
- (18) 軽量鉄筋コンクリート桁のせん断強度について 東大 楢貝 勇
- (19) 人工軽量骨材を使用した鉄筋コンクリート部材の曲げせん断強度および捩りせん断強度 早大 神山 一

(V 軽 量 P C)

- (20) 人工軽量骨材を用いたPCけたの定着部の強度と補強方法 中央大 西沢紀昭・日本コンクリート工業 高野昭信
- (21) くり返し高荷重をうける軽量PC単軸はりの変形と耐力 京大 六車 照・富永 恵・高矢義忠
- (22) 人工軽量骨材を用いたプレストレスト コンクリートけたの疲労強度に関する研究 国鉄 尾坂芳夫
- (23) 軽量PC桁の曲げおよびせん断試験 東大 国分正胤・松本嘉司・国鉄 樋口芳朗・都立大 村田二郎

人工軽量骨材コンクリート設計施工指針(案)

内 容：1章 総則/2章 軽量骨材/3章 軽量骨材コンクリートの品質/4章 軽量骨材の取扱い/5章 配合/6章 練りまぜおよび運搬/7章 コンクリート打ちおよび養生/8章 試験/9章 設計に関する一般事項
付 録：1 骨材中に含まれる粘土塊量の試験方法/2 軽量粗骨材の浮粒率試験方法/3 構造用軽量細骨材の比重および吸水水量試験方法(案)/4 構造用軽量粗骨材の比重および吸水水量試験方法(案)

体 裁：B6判 53 ページ 定 価：300 円 会員特価：250 円(〒50)

申 込 先：土木学会 東京都新宿区四谷一丁目

関東支部行事案内 (郵便番号 160 東京都新宿区四谷1丁目 土木学会総務課内)
電話 (03) 351-4133

(1) 「東京湾の開発」講演会 ◀ 2月14日(金) 10.20~17.00 ▶

就業構造の高度化に伴う人口および企業の大都市への集中により、首都圏は拡大の一途をたどっているが、首都圏構想において東京湾の占める比重はきわめて大きなものである。

東京湾の開発については、これまで画期的なプランがいくつか提案されているが、地域開発、道路、港湾および鉄道の各分野において、現在かなり具体化している計画を中心に、それぞれ直接の担当者がその構想を解説する講演会を開催します。多数ご来聴をのぞみます。

1. 日 時：1969年2月14日(金) 10.20~17.00

2. 場 所：土木学会土木図書館講堂

3. 定 員：150名

4. 参加費：無料

5. プログラム：

10.20~10.30 あいさつ

10.30~12.00 東京湾の開発計画概要について

13.00~14.20 東京湾湾岸道路について

14.30~15.50 東京湾の開発について

16.00~17.00 首都圏における鉄道貨物輸送計画について—東京湾湾岸鉄道計画—

6. 申 込：往復はがきでお申込み下さい。返信用はがきを参加券としてお送りいたします。満員になり次第締切ります。

土木学会関東支部長

建設省計画局地域計画課長 今井 勇

建設省道路局道路経済調査室長 井上 孝

運輸省港湾局計画課長 竹内 良夫

国鉄本社建設局停車場第一課長 横山 浩雄

(2) 映画会(埼玉県) ◀ 1月20日(月) 13.00~15.00 ▶

土木学会主催第3回国土開発映画コンクールの上位入選作品3編を上映いたします。多数ご観賞下さいませようご案内いたします。

1. 場 所：与野農工高等学校(埼玉県与野市円阿弥 252 電話 浦和 31-6880)

2. 上映映画：①礎(いしづえ) —梓川電源開発の記録— (企画 東京電力株式会社)

②青函トンネル—第一部— (企画 日本鉄道建設公団)

③利根川河口堰 (企画 水資源開発公団)

3. 参加費：無料

関西支部行事案内 (郵便番号 537 大阪市東成区中道元町1丁目 149番地)
電話 大阪(06) 981-2510, 振替口座大阪 82599番

(1) 海外事情講演会 ◀ 1月18日(土) ▶

1. 日 時：1969年1月18日(土) 15.00~17.30

2. 場 所：好文倶楽部集会室 電話大阪(06) 361-1261 大阪市北区梅田2 第一生命ビル12階 国鉄大阪駅前

3. 題目と講師：

開 会 挨拶

15.00~16.00 ①蒙州諸港を中心としたコンテナ化の趨勢について

16.00~17.20 ②母国の土木事情と日本

土木学会関西支部長 米谷 栄二

阪神外貿埠頭公団理事 加納 治郎

京大研究留学生(中国) M.S. 宋 永 熾

京大研究留学生(タイ国) T. Satrusajang

阪大研究留学生(アラブ連合) M.S.A.H. Salman

阪大研究留学生(韓国中央大学助教授) M.S. 李 愚 賢

土木学会関西支部幹事長 伊藤 富雄

閉 会 挨拶

4. 聴 講：無料、来聴歓迎

本講演会終了後別掲のとおり会員懇親会を催しますから多数ご参加下さい。

(2) 会員懇親会

◀ 1月18日(土) ▶

1. 日 時: 1969年1月18日(土) 17.30頃の予定(海外事情講演会終了後)
2. 場 所: 好文倶楽部会議室 電話大阪(06) 361-1261
大阪市北区梅田2 第一生命ビル 12階 国鉄大阪駅前
3. 参加費: 500円
4. 申込期限: 1969年1月11日(土)
5. 申込方法: 参加希望者は勤務先, 連絡先および氏名を明記(様式随意)のうえ参加費500円を添えて1月11日(土)までに土木学会関西支部へお申し込み下さい。参加証をお送りします。

(3) 工事安全対策に関する講習会

◀ 2月25日(火)~26日(水) ▶

1. 日 時: 1969年2月25日(火), 26日(水)の両日 10.00~16.00
2. 場 所: 大阪科学技術センター 8階大ホール 電話大阪(06) 443-5321
大阪市西区靱1丁目118番地 (地下鉄3号線信濃橋下車北へ 150m 靱公園北東角)
3. 題目と講壇

第1日: 2月25日(火)

- | | | |
|------------------------------|------------------------|----------|
| 開 会 検 拶 | 土木学会関西支部長 | 米谷 栄二 |
| 10.00~11.00 ① 高気圧下作業における安全対策 | 白石基礎工事(株)大阪支店工務課長 | 平川 脩士 |
| 11.00~12.00 ② 発破作業上の安全対策 | 鹿島建設(株)土木工務部長 | 工博 佐藤忠五郎 |
| 13.00~14.00 ③ 鉄道工事における安全対策 | 国鉄大阪工務局長 | 北条 武徳 |
| 14.00~15.00 ④ 地下鉄工事における安全対策 | 大阪市交通局高速鉄道建設本部第三建設事務所長 | 竹山 喬 |
| 15.00~16.00 ⑤ トンネル工事における安全対策 | (株)大林組土木本部技術部長 | 工博 坂本 真雄 |

第2日: 2月26日(水)

- | | | |
|----------------------------------|---------------------------|-------|
| 10.00~11.00 ⑥ 機械化土工における安全対策 | ブルドーザ工事(株)喜撰山ロックフィルダム作業所長 | 福井 毅 |
| 11.00~12.00 ⑦ 既設構造物に対する近接工事の安全対策 | 阪神高速道路公団工務部工務課第一課長 | 上林 達郎 |
| 13.00~14.00 ⑧ 橋梁架設上の安全対策 | 日立造船エンジニアリング(株)鉄構部長 | 加藤 真三 |
| 14.00~15.00 ⑨ 高所工事における安全対策 | (株)大林組労務課長 | 砂田 道一 |
| 15.00~16.00 ⑩ 海上工事における安全対策 | 第三港建神戸港工事事務所長 | 日下 宏 |
| 閉 会 検 拶 | 土木学会関西支部幹事長 | 伊藤 富雄 |

4. 定 員: 300名(先着順)
5. 参加費: 会員 1000円(テキスト代を含む) 非会員 1500円
ただし講習会当日は1500円となりますので期限内に前納して下さい。
6. 申込期限: 1969年2月8日(土)
7. 申込方法: 参加希望者は勤務先, 連絡先, 氏名および会員の種別も明記(様式随意)し, 上記参加費を添えて土木学会関西支部へお申し込み下さい。参加者には参加証をお送りしますから当日は必ずご持参下さい。参加証のない人は入場をお断りします。
(注)都合により講師の順序に変更があるかも知れませんのでご了承下さい。

(4) 若い会員懇親パーティ(第2回)

若い会員相互の親睦をはかりたいと存じますので, 多数ご参加のうえ, 自由なご発言をお待ち申し上げます。

1. 日 時: 1969年2月25日(火) 16時よりの予定(工事安全対策講習会第1日終了後)
2. 場 所: 大阪科学技術センター8階小ホール 電話大阪(06) 443-5321
大阪市西区靱1丁目118番地(地下鉄3号線信濃橋下車北へ 150m 靱公園北東角)
3. 参加者資格: 39才未満の土木学会会員
4. 定 員: 50名(先着順)
5. 参加費: 無 料
6. 申込期限: 1969年2月8日(土)
7. 申込方法: 参加希望者は勤務先, 連絡先および氏名を明記(様式随意)して土木学会関西支部へお申し込み下さい。参加証をお送りします。

(5) 関西支部年次学術講演会 (昭和 44 年度)

◀ 5 月 11 日 (日) ▶

1. 日 時: 1969 年 5 月 11 日 (日) 9.00~17.00
 2. 場 所: 神戸大学工学部 電話神戸 (078) 87-5131 神戸市灘区六甲台町 1
 国鉄六甲道または阪急電鉄六甲より市バス⑥六甲台行鶴甲口下車, ⑥六甲ケーブル行教養部前下車
 プログラム, 講演概要の頒価およびその他の事項については学会誌 4 月号 (一部 3 月号) に掲載の予定です。
 講演ご希望の方はつぎの講演申込要領をご覧のうえお申し込み下さい。

年次学術講演会申込要領

- 講演申込方法: 講演希望者は申込カード (4 枚複写綴) に部門, 題目, スライドの有無, 勤務先, 会員種別, 学位, 氏名 (連名の時は講演者に○印をつける), 卒業学校名および年次, 連絡先を明記のうえ 2 月 15 日 (土) までに土木学会関西支部へ必着するよう提出して下さい。申込カードは関西支部へ請求して下さい。
- 講演内容: 講演は未発表のもので 1 人 1 題にかぎります。
- 講演時間: 1 題につき 15 分の予定です。
- 講演部門: つぎの 4 部門にわけますが, 都合により講演者の了承を得たうえで部門を変更させていただくことがあります。
 第 1 部門: 構造力学, 構造, 橋梁等
 第 2 部門: 水理学, 水文学, 河川, 港湾, 海岸, 発電水力, 衛生工学等
 第 3 部門: 土質力学, 基礎工学, 土木機械, 施工等
 第 4 部門: 鉄道, 道路, コンクリートおよび鉄筋コンクリート, 土木材料, 都市計画, 空港, 測量等
- 原稿提出要領: 講演申込者にはつぎの要領で講演概要の原稿を提出していただきます。
 1. 講演概要は講演者の原稿をそのまま縮写してオフセット印刷としますから必ず所定の用紙をご使用下さい。
 2. 用紙は執筆要領 (原稿の書き方) とともに講演申込者に関西支部からお渡します。
 3. 原稿は 4 月 5 日 (土) (期限厳守) までに関西支部へ必着するようお送り下さい。
 4. 原稿の長さは 1 題につき 2 ページ (図表, 写真を含め 1 ページ 1 480 字詰) を原則とします。超過する場合は 2 ページまで, 1 ページにつき 1 000 円の製版料を申し受けます。
- 講演概要: 講演者 (○印) には無料, 一般は有料, 別刷は講演者 (○印) には 30 部無料で差し上げますが, それ以外の取扱いはいたしません。

(付) テキスト頒布について

■	頒価	無料	送料
■ 公害振動測定法 (案) (騒音・振動委員会編)			35 円
■ 騒音・振動公害	1 000 円		100 円
■ 関西の土木 100 年 (支部創立 40 周年記念出版)	700 円		100 円
■ 写真測量とその応用	800 円		80 円
■ 土木工学における動的現象の計測とデータ処理	700 円		80 円
■ 水理学・水文学における最近の進歩	1 000 円		100 円

上記テキストご希望の方は頒価に送料を添えて土木学会関西支部 (振替口座利用) へお申し込み下さい。

中国四国支部行事案内 (広島市基町 10-3 自治会館内 土木学会中国四国事務局)
 電話広島 (0822) 61-2666 または広島市二葉の里 国鉄
 中国支社施設部工事課 電話広島 (0822) 61-2251 内線 242)

昭和 43 年度 中国四国支部講演会および講習会

◀ 2 月 5 日 (水) ▶

主 催: 土木学会中国四国支部
 共 催: 土質工学会中国支部

1. 期 日: 1969 年 2 月 5 日 (水) 10.00~16.30
 2. 場 所: 広島合同庁舎 2 階会議室 広島市八丁堀 6 番地 30 号
 3. 題目と講師:

- | | |
|------------------------|----------------------|
| ① 広島県の土木行政について | 広島県土木建築部長 田辺 義亮 |
| ② 最近の設計近代化について | 国鉄構造物設計事務所長 工博 西亀 達夫 |
| ③ 最近の土質力学の進歩について | 広島大学教授 工博 網干 壽夫 |
| ④ 広島周辺地域における幹線道路計画について | 中国地建広島国道事務所長 新居 英一 |

西部支部行事案内 (郵便番号 810 福岡市薬院2丁目14番21号 電 (092) 78-3714~6)

昭和 43 年度研究発表会

◀ 2 月 23 日 (日) ▶

1. 開催月日: 1969 年 2 月 23 日 (日)
2. 会 場: 九州大学教室 (福岡市箱崎町)
3. 発表申込: 1968 年 12 月 20 日までに、勤務先、会員種別、氏名、発表題名を支部あて申込んで下さい。
1人1題とします。
4. 発表時間: 1題につき 15 分 (質問時間を含みます。スライド使用はできません)
5. 原稿提出その他:
 - ① 原稿はオフセット印刷しますので、発表申込者は支部から原稿用紙を送ります。
 - ② 原稿用紙は 1 ページ 1620 字詰 1 題につき 4 ページとします。
 - ③ 原稿提出 1969 年 1 月 31 日までに支部へ
 - ④ 増刷 20 部はさしあげます。それ以上入用のときは必要部数お知らせ下さい。実費申受けます。
 - ⑤ 発表者には当日 2 等往復汽車賃さしあげます。
6. 申 込 先: 福岡市薬院 2 丁目 14 番 21 号 土木学会西部支部 電 78-3714

国際会議のお知らせ

(1) 土质地質に関する懇談会 (Colloque de Géotechnique)

1. 日 時: 1969 年 3 月 13 日~15 日
2. 場 所: Toulouse FRANCE
3. 主 催: フランス土質工学委員会・フランス岩盤力学委員会
4. テ - マ: (1) 実験室での材料実験に関するもの / (2) 実験室での風化度の実験に関するもの / (3) 岩石が風化されて形成された岩に関するもの / (4) 岩石力学的手法のコンクリートへの応用および骨材の性質がコンクリートの物性におよぼす効果

(2) “岩盤内の応力の定め方” に関する国際シンポジウム

(International Symposium on the Determination of Stresses in Rock Masses)

1. 日 時: 1969 年 5 月 19 日~21 日
2. 場 所: Lisbon PORTUGAL
3. 主 催: ポルトガル岩盤および土質力学グループ
4. 共 催: 国際岩の力学会
5. テ - マ: ○初期応力の定め方に関して用いられている技術
○外力によって岩盤内に生ずる応力状態
○応力解析法に関するもの

◎以上の詳細については、土木学会事業課にお問合せ下さい。

(3) 2ND INTERNATIONAL SYMPOSIUM ON AUTOCLAVED CALCIUM SILICATE BUILDING MATERIALS

- 主 催: International Calcium Silicate Products Research Organisation
 期 日: 1969 年 3 月 25 日~28 日
 場 所: Hannover, Germany
 主 題: 1. Basic Research and Properties / 2. Processing and Manufacture / 3. Building Technique and Architecture
 連絡先: Secretariat of the 2nd International Symposium 1969 “Haus der Kalksandsteinindustrie”
 3 Hannover-Herrenhausen Germany